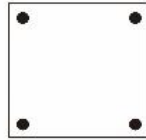
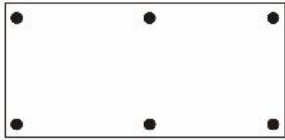


施工要領書

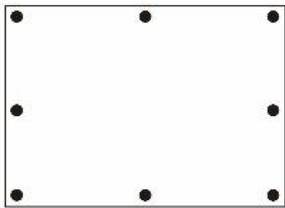
1 専用ピン(FM-PIN18)での施工

適用下地：石膏ボード

施工方法：木槌やピンニング器で虫ピンを打ち込みます。



虫ピン	推奨本数
FB/EX-8060C	8本
FB/EX-4040C	4本
FB-8040C	6本
FB-6030C	6本
FMS-8060C	8本
FMS-4040C	4本

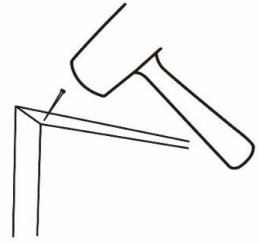


●取付箇所

注意事項、その他

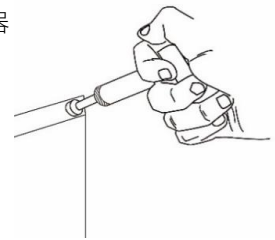
- ・ 壁紙の上からでも施工可能です。
- ・ 下地に過度な不陸がある場合は、平滑にしてから施工してください。
- ・ **防音フェルトボードは天井に取り付けしないで下さい。吸音フェルトボードより重量があるため、万一落下した場合危険です。**

A.木槌



45度部分を専用ピンで打つ。

B.ピンニング器



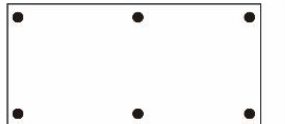
ピンニング器等で専用ピンを押し込む。
45度の面取り部分に専用ピンを打つことで、
ピンの頭が目立ちません。

ポイント！

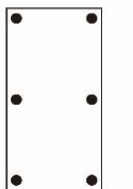
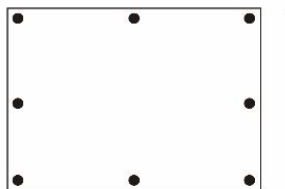
2 電動ピンタッカーでの施工

適用下地：石膏ボード、合板、パーティクルボード

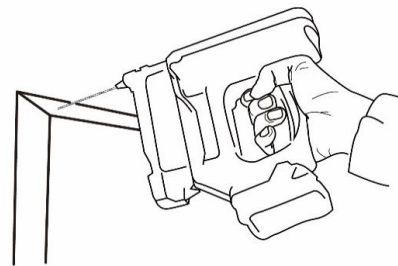
施工方法：電動ピンタッカーでピン釘を打ち込みます。



ピン釘	推奨本数
FB/EX-8060C	8本
FB/EX-4040C	4本
FB-8040C	6本
FB-6030C	6本
FMS-8060C	8本
FMS-4040C	4本



●施工箇所



45度の面取り部分にピンネイルを打つことで、
ピンネイルの頭が目立ちません。
トルク調整機能があるピンタッカーは弱にして
ご使用ください。

ポイント！

ピン釘（ピンネイル）とは？
仕上げ用途に使用される頭部のない釘です。
釘径が僅か0.6mmということに加え頭部がないため、
目立ちにくいというメリットがあります。

注意事項、その他

- ・ 壁紙の上からでも施工可能です。
- ・ 下地に過度な不陸がある場合は、平滑にしてから施工してください。
- ・ **防音フェルトボードは天井に取り付けしないで下さい。**
吸音フェルトボードより重量があるため、万一落下した場合危険です。

3

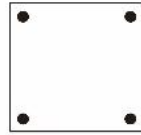
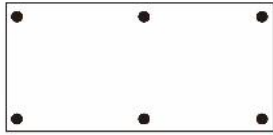
ホットメルトでの施工

適用下地：コンクリート、石膏ボード、合板、パーティクルボード等

施工方法：

ホットメルトをフェルメノンの裏面に付けて、

ホットメルトが乾く前にフェルメノン壁面に取り付け、圧着します。



推奨塗布箇所

FB/EX-8060C 8箇所

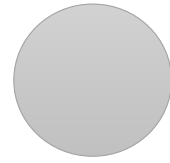
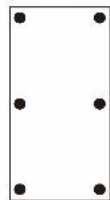
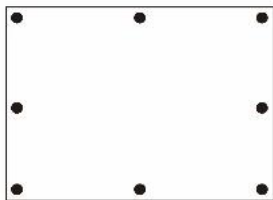
FB/EX-4040C 4箇所

FB-8040C 6箇所

FB-6030C 6箇所

FMS-8060C 8箇所

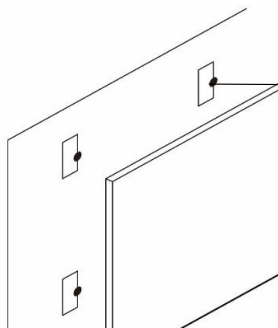
FMS-4040C 4箇所



★商品が軽いので、
1円玉ほどの塗布量で施工できます！

※防音フェルトボードは吸音フェルトボードより重量があるために、ホットメルトの量を多めに貼り付けてください。貼付け状況に応じて現場での作業をお願い致します。

●塗布箇所



ポイント！

ホットメルト

弱粘着の養生テープや幅の広いマスキングテープを貼ってから施工することで、剥がした際に壁紙や下地を傷つけません。

※防音フェルトボードには養生テープや幅の広いマスキングテープを使用する場合、適切に量を確認して多めに使用して下さい。

また、ホットメルトの量も多めに貼り付けてください。

注意事項、その他

- ・ 端部に塗布する際は、貼付け後にはみ出さないようご注意ください。
- ・ 壁紙の上からでも施工可能です。
- ・ 下地に過度な不陸がある場合は、平滑にしてから施工してください。
- ・ 壁（天井）に貼り付け後、初期接着が弱い接着剤の場合、パネルがずれる可能性があります。その際は必ず仮止め用の両面テープを併用してください。
- ・ 貼り付け後は必ず圧着してください。
- ・ 経年劣化している壁紙や浮きがある壁紙の上に、養生テープ+ホットメルトで施工する場合、剥がした際に壁紙のエンボスが一緒に剥がれてしまったり、壁紙自体も一緒に剥がれてしまう可能性がありますのでご注意ください。
- ・ 気温、室温の低い場所での作業は、ホットメルトが早く固まる為、接着が弱くなる場合があるのでご注意ください。
- ・ 防音フェルトボードは天井に取り付けしないで下さい。吸音フェルトボードより重量があるため、万一落下した場合危険です。

4

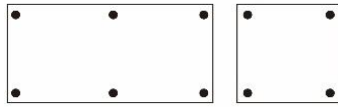
接着剤での施工

適用下地：コンクリート、石膏ボード、合板、パーティクルボード等

施工方法：

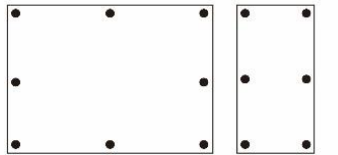
接着剤をフェルメノンの裏面につけて、

接着剤が乾く前にフェルメノンを取り付け圧着します。



推奨塗布箇所

FB/EX-8060C 8箇所



FB/EX-4040C 4箇所

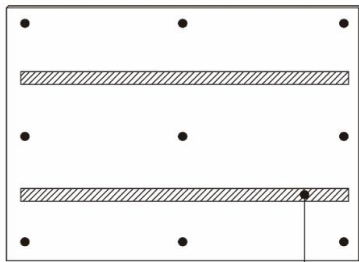
FB-8040C 6箇所

FB-6030C 6箇所

FMS-8060C 8箇所

FMS-4040C 4箇所

●塗布箇所



両面テープ

初期接着が弱いシーリング剤をご使用の場合、必ず
仮留め用の両面テープを併用してください。

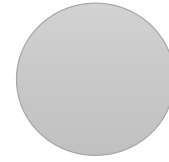
推奨両面テープ：

コニシ株式会社 ボンドTMテープ

又は、アクリル樹脂系両面テープ

注意事項、その他

- ・ 壁紙の上からでも施工可能です。
- ・ 下地に過度な不陸がある場合は、平滑にしてから施工してください。
- ・ 壁（天井）に貼り付け後、初期接着が弱い接着剤の場合、パネルがずれる可能性があります。その際は必ず仮留め用の両面テープを併用してください。
- ・ 貼り付け後は必ず圧着してください。
- ・ 経年劣化している壁紙や浮きがある壁紙の上に、養生テープ+接着剤で施工する場合、剥がした際に壁紙のエンボスが一緒に剥がれてしまったり、壁紙自体も一緒に剥がれてしまう可能性がありますのでご了承ください。
- ・ 接着が不安定の場合は、接着剤の塗布量と仮留め両面テープの量を増やしてください。
- ・ 防音フェルトボードは天井に取り付けしないで下さい。吸音フェルトボードより重量があるため、万一落下した場合危険です。

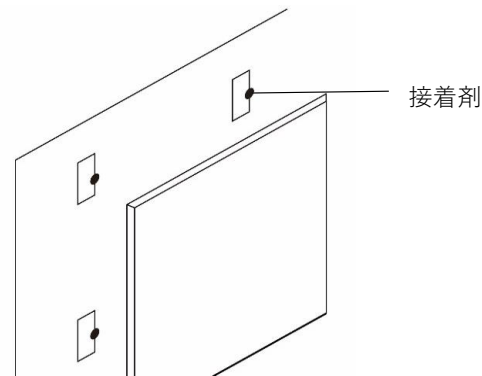


★商品が軽いため、

1円玉ほどの塗布量で施工できます！

※防音フェルトボードは吸音フェルトボードより重量があるために、ボンドの量を多めに
して線状に塗布してください。貼付け状況に
応じて現場での作業をお願い致します。

推奨接着剤：コニシ株式会社 ボンド PX8000
又は、シリコン樹脂系シーリング剤



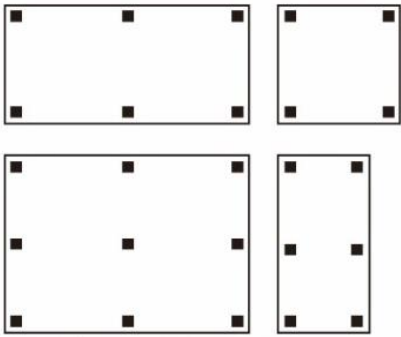
弱粘着の養生テープや幅の広いマスキングテープを
貼ってから施工することで、
剥がした際に壁紙や下地を傷つけません。

5

スチールペーパー+マグネットでの施工

適用下地：コンクリート、石膏ボード、合板、パーティクルボード等

- 施工方法： ①マグネットの剥離紙を剥がして頂き、フェルメノンに取り付けます。
 ②スチールペーパーの剥離紙を剥がして、マグネットに取り付けます。
 ③フェルメノン全体を持ちながら、壁面に貼り付けする。
 ④スチールペーパーを壁面に圧着してください。



推奨施工箇所

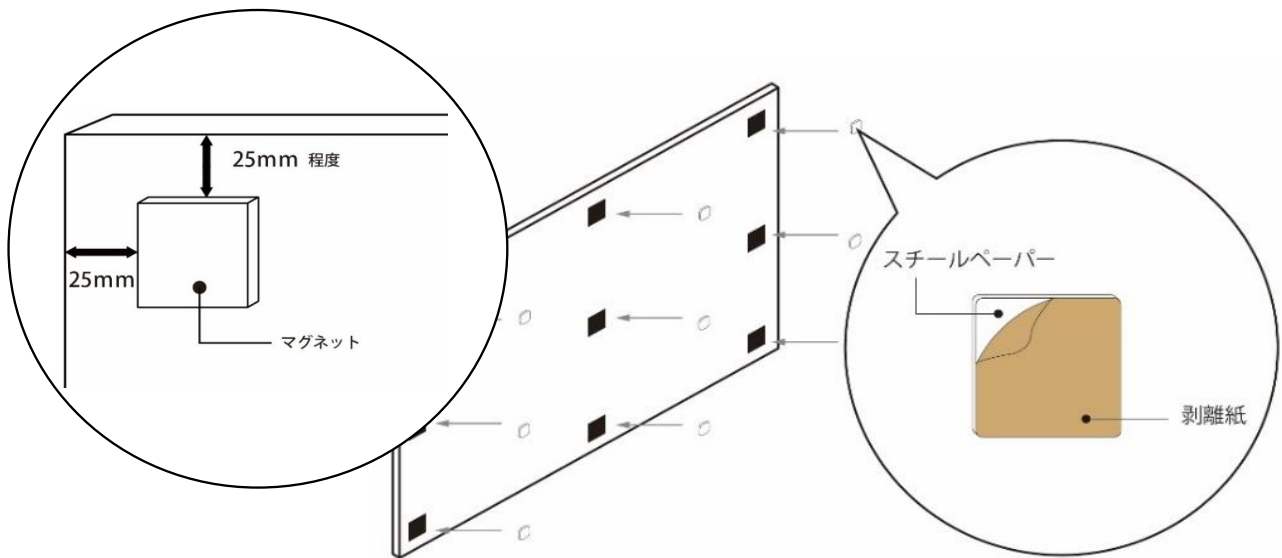
FB/EX-8060C 9箇所

FB/EX-4040C 4箇所

FB-8040C 6箇所

FB-6030C 6箇所

●：マグネット 推奨取付箇所



注意事項、その他

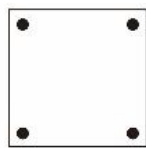
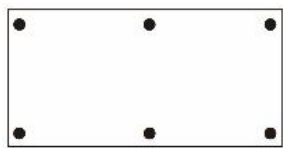
- ・剥離紙が一度剥がれてしまうと、粘着力が弱くなりますので、事前にマグネットの貼り付ける位置についてご確認をお願い致します。
- ・壁紙の上からでも施工可能です。
- ・下地に過度な不陸がある場合は、平滑にしてから施工してください。
- ・**防音フェルトボードはスチールペーパー+マグネットでの施工方法に適用致しません。**
- ・万一マグネットにて施工される場合はお客様にて市販の適切なスチール板とマグネットパーツをご購入の上、施工をお願い致します。

6

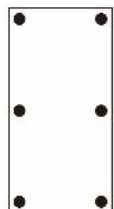
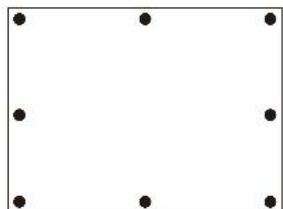
天井での施工

適用下地：石膏ボード

施工方法：木槌やピンニング器で虫ピンを打ち込みます。



虫ピン	推奨本数
FB/EX-8060C	8本
FB/EX-4040C	4本
FB-8040C	6本
FB-6030C	6本

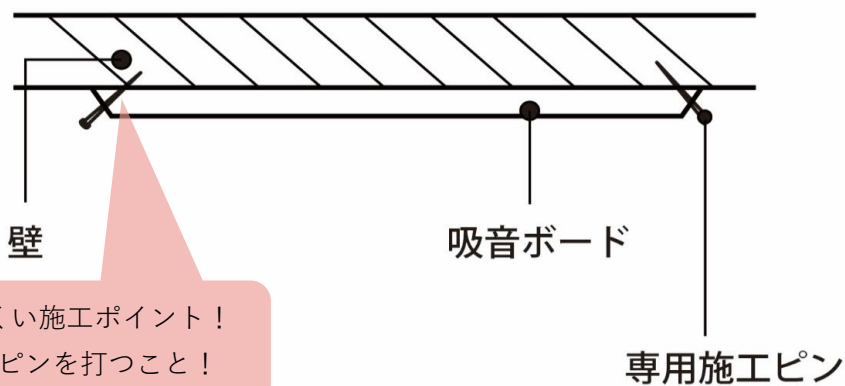


●取付箇所



ポイント！

45度の面取り部分に虫ピンを打つことで、虫ピンの頭が目立ちません。



落ちにくい施工ポイント！
斜めにピンを打つこと！

注意事項、その他

- ・ 壁紙の上からでも施工可能です。
- ・ 下地に過度な不陸がある場合は、平滑にしてから施工してください。
- ・ 防音フェルトボードは天井に取り付けしないで下さい。吸音フェルトボードより重量があるため、万一落下した場合危険です。